

1

放物線 $C: y = \frac{1}{2}x^2$ 上に点 $P\left(1, \frac{1}{2}\right)$ をとる。 x 軸上に中心 A をもち点 P で放物線に接する円と x 軸との交点のうち原点に近い方を B とするとき、円弧 BP (短い方) と放物線 C および x 軸で囲まれた部分の面積を求めよ。

2

曲線 $y = x^3 + 2x^2$ と直線 $y = mx$ ($m < 0$) は異なる3点で交わるとする。この曲線と直線で囲まれた2つの図形の面積が等しくなるような定数 m の値を求めよ。

3

$f(t) = \int_0^1 |x^2 - tx| dx$ とする。 $f(t)$ の最小値と、最小値を与える t の値を求めよ。

1

解説

点 P における接線に垂直な直線の方程式は, $y' = x$ から

$$y = -(x-1) + \frac{1}{2} \quad \text{すなわち} \quad y = -x + \frac{3}{2}$$

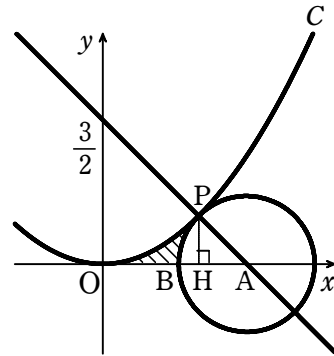
この直線と x 軸の交点が円の中心 A であるから, その座標は

$$\left(\frac{3}{2}, 0\right)$$

よって, 円の半径は $AP = \sqrt{\left(1 - \frac{3}{2}\right)^2 + \left(\frac{1}{2}\right)^2} = \frac{1}{\sqrt{2}}$

点 P から x 軸に下ろした垂線と x 軸の交点を H とすると, 求める面積は

$$\begin{aligned} & \int_0^1 \frac{1}{2} x^2 dx + (\triangle PHA \text{ の面積}) \\ & - (\text{扇形 APB の面積}) \\ & = \left[\frac{x^3}{6} \right]_0^1 + \frac{1}{2} \left(\frac{3}{2} - 1 \right) \cdot \frac{1}{2} - \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\sqrt{2}} \right)^2 \cdot \frac{\pi}{4} \\ & = \frac{1}{6} + \frac{1}{8} - \frac{\pi}{16} = \frac{7}{24} - \frac{\pi}{16} \end{aligned}$$



2

解説

曲線と直線の交点の x 座標は, $x^3 + 2x^2 = mx$ すなわち

$$x(x^2 + 2x - m) = 0 \quad \dots\dots ①$$

の実数解である。

曲線と直線は異なる3点で交わるから, $x^2 + 2x - m = 0$ は0でない異なる2つの実数解をもつ。

判別式を D とすると $\frac{D}{4} = 1^2 + m > 0$

また, $m < 0$ であるから $-1 < m < 0 \quad \dots\dots ②$

よって, ①の解は $x = 0, -1 \pm \sqrt{1+m}$

ここで, $-1 - \sqrt{1+m} = \alpha, -1 + \sqrt{1+m} = \beta$ とおくと $\alpha < \beta < 0$

2つの図形の面積が等しくなるための条件は

$$\int_{\alpha}^{\beta} (x^3 + 2x^2 - mx) dx = \int_{\beta}^0 \{mx - (x^3 + 2x^2)\} dx$$

したがって $\int_{\alpha}^0 (x^3 + 2x^2 - mx) dx = 0$

左辺の定積分を I とすると

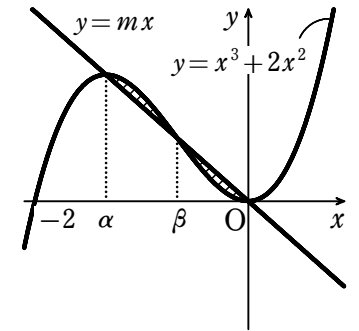
$$I = - \left[\frac{x^4}{4} + \frac{2}{3} x^3 - \frac{m}{2} x^2 \right]_0^{\alpha} = - \frac{\alpha^2}{12} (3\alpha^2 + 8\alpha - 6m)$$

$I = 0$ のとき, $\alpha \neq 0$ であるから $3\alpha^2 + 8\alpha - 6m = 0 \quad \dots\dots ③$

α は $x^2 + 2x - m = 0$ の解であるから $m = \alpha^2 + 2\alpha \quad \dots\dots ④$

③に代入して整理すると $3\alpha^2 + 4\alpha = 0 \quad \alpha \neq 0$ であるから $\alpha = -\frac{4}{3}$

このとき, ④から $m = -\frac{8}{9}$ これは②を満たす。



3

解説

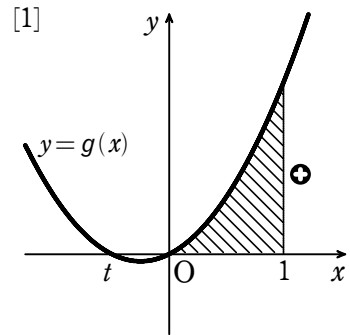
$g(x) = x^2 - tx$ とする。

$g(x) = 0$ の解は $x = 0, t$

[1] $t \leq 0$ のとき

$0 \leq x \leq 1$ では $g(x) \geq 0$

$$\begin{aligned} \text{よって } f(t) &= \int_0^1 g(x) dx = \int_0^1 (x^2 - tx) dx \\ &= \left[\frac{x^3}{3} - \frac{t}{2} x^2 \right]_0^1 = \frac{1}{3} - \frac{t}{2} \end{aligned}$$

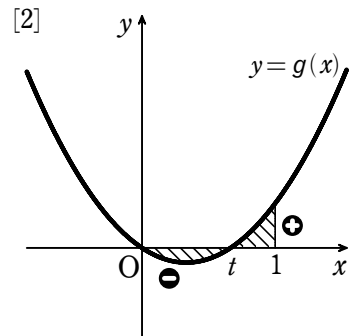


[2] $0 < t < 1$ のとき

$0 \leq x \leq t$ では $g(x) \leq 0$,

$t \leq x \leq 1$ では $g(x) \geq 0$

$$\begin{aligned} \text{よって } f(t) &= -\int_0^t g(x) dx + \int_t^1 g(x) dx \\ &= -\left[\frac{x^3}{3} - \frac{t}{2} x^2 \right]_0^t + \left[\frac{x^3}{3} - \frac{t}{2} x^2 \right]_t^1 \\ &= \frac{t^3}{3} - \frac{t}{2} + \frac{1}{3} \end{aligned}$$



$$f'(t) = t^2 - \frac{1}{2} = \left(t + \frac{\sqrt{2}}{2}\right) \left(t - \frac{\sqrt{2}}{2}\right)$$

$$f'(t) = 0 \text{ とすると } t = \pm \frac{\sqrt{2}}{2}$$

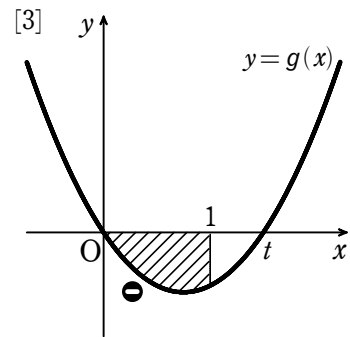
$0 < t < 1$ における増減表は右のようになる。

t	0	...	$\frac{\sqrt{2}}{2}$...	1
$f'(t)$		-	0	+	
$f(t)$			$\frac{2-\sqrt{2}}{6}$		

[3] $t \geq 1$ のとき

$0 \leq x \leq 1$ では $g(x) \leq 0$

$$\begin{aligned} \text{よって } f(t) &= -\int_0^1 g(x) dx \\ &= -\left(\frac{1}{3} - \frac{t}{2}\right) = \frac{t}{2} - \frac{1}{3} \end{aligned}$$



以上から、 $y = f(t)$ のグラフは、右の図のようになる。

したがって、 $f(t)$ は

$$t = \frac{\sqrt{2}}{2} \text{ のとき最小値 } \frac{2-\sqrt{2}}{6}$$

をとる。

